

選挙の記録

(平成 29 年度)

第 48 回 衆議院議員総選挙

平成 29 年 10 月 22 日執行

新潟市選挙管理委員会

は し が き

この記録は、平成29年10月22日執行の第48回衆議院議員総選挙（最高裁判所裁判官国民審査）の結果を収録したものです。

今回の衆議院議員総選挙は、安倍総理が全世代型の社会保障制度改革を訴え、その財源として2019年10月の消費税率10%への引き上げによる増収分の用途変更について国民の信を問うとして、9月28日に召集された臨時国会の冒頭で衆議院が解散され、10月10日公示、同月22日に投開票が行われることとなりました。

新潟市の選挙の結果は、戦後最低だった前回平成26年総選挙の投票率47.52%を9.65ポイント上回る投票率57.17%（小選挙区）となりました。

全国的には、戦後2番目に低い投票率53.68%であり、新潟市での投票率が押し上げられた原因としては、前年の参議院選挙や新潟県知事選挙での「与党対野党共闘」の構図が、今回選挙においても鮮明となり有権者の関心が高まったことや新潟市に係る4小選挙区中、3小選挙区で自民党候補者と無所属での出馬となった候補者との選挙戦となり、比例復活のない無所属陣営の頑張りがあったことが挙げられます。

このような新潟県の情勢もあってか、新潟県内6小選挙区のうち、新潟市に係る4小選挙区の全てで野党系候補者が勝利し、外の2小選挙区は自民党候補者が勝利しました。

また、特筆すべきこととして、期日前投票の利用者が大幅に増え、全投票者の3分の1弱を占めたことがあります。公職選挙法の改正で、期日前投票事由に「天災又は悪天候により投票所に到達することが困難」が加えられたところ、選挙日当日の22日に向けて台風21号の接近が予報されたことから、期日前投票最終日に多くの選挙人が投票に訪れ、投票所によっては1時間以上待つこともありました。

選挙管理委員会の事務については、解散から投票まで24日間と期間が短く、急ピッチで作業をしなければならないことや、最高裁判所裁判官国民審査の期日前投票期間が今回から11日間となったこと、投票日に向けて台風21号の接近する影響で、東区、中央区、西区の期日前投票所を中心に順番待ちの列が出来るなど非常に混雑し、職員を増やすなど対応に苦慮する選挙でした。

また、北区、江南区、南区及び西区で複数の小選挙区に分かれている状態が、国会での小選挙区の区割り見直しの中で解消されないままに選挙が行われることで、前回選挙と同様に当該行政区では、期日前投票については、1つの期日前投票所を2つに分割し、又は投票できる選挙区を限定して対応し、開票では、会場を分割して2開票区を設ける対応を取るなど、苦勞の多いものとなりました。

幸いにして、選挙の管理執行については大過なく終了することができました。これもひとえに関係各位の御協力の賜と心から感謝申し上げます。

なお、今後とも一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

新潟市選挙管理委員会

第48回衆議院議員総選挙（平成29年10月22日執行）



懸垂幕の掲出—市役所本館



のぼりの掲出—市役所分館



投票所の様子（北区）



開票所の様子（中央区）

目 次

I	第 48 回衆議院議員総選挙（平成 29 年 10 月 22 日執行）	1
II	最高裁判所裁判官国民審査（平成 29 年 10 月 22 日執行）	109
III	付 録	121

